
累計 60 隻目のLPG船受注

■ 川崎重工、VLGCにスクラバー搭載

川崎重工業は23日、シンガポールのクマイ・ナビゲーション (Kumiai Navigation <Pte> Ltd) から8万2200^m型の大型LPG船 (VLGC) 1隻を受注したと発表した。同社が受注したLPG船として60隻目となり、VLGCの同型船として10隻目になる。既報のとおり、SO_xスクラバー (排ガス浄化装置) を搭載する。

受注したVLGCは坂出工場 で建造し、2020年に竣工予定。S

O_xスクラバーを搭載することで2020年から施行されるSO_x排出規制に適應する。さらにクマイ・ナビゲーション向けに受注している19年竣工予定のVLGCにも、川崎重工として初めてSO_xスクラバーを搭載する。

VLGCには、独自に開発した船首形状「SEA-ARROW」を採用し、航走時に船首部に発生する波を極限まで減少させ、推進性能を大幅に向上させている。さ

らに主機関に省燃費型の電子制御式ロングストローク2サイクル低速ディーゼル機関を採用し、プロペラ周りに省エネ付加物を装備することにより、燃料消費量の低減を図っている。

坂出工場では、VLGCやLNG船を主力製品として建造している。従来のガス輸送船のほか、環境規制への対応としてLNGやLPG燃料船にも取り組んでいる。

【主要目】全長約230.00m、LBD d =226.00m ×37.20m ×21.00m ×11.20m、タンク容量8万2200^m
